

「うちの会社へは、どうやって来ますか？」

実習・入社面接で必ず聞かれる質問シリーズ①

今回の通信から、何回か連続で、「実習・入社面接で必ず聞かれる質問シリーズ」を掲載します。面接をうまくやり過ごすためのテクニックとしてではなく、「なぜ、企業の方はそんな質問をするのか」について考えていただき、日頃の生活について振り返ってもらえればと思います。

面接で必ず聞かれる質問に、「うちの会社へは、採用されたら（実習の時）どうやって来ますか？」があります。なぜ、この質問が聞かれるか考えてください。1つ目の理由は、「形式的な質問に対して、要領よく、かつ必要な情報を含めた回答ができるか？」がすぐに分かるからです。通勤経路を聞かれたとき、一般的な答えは「自宅からJR尼崎駅まで歩いていき、JRで三田駅まで行きます。三田駅で神姫バスに乗り中央病院前で降りて、あとは徒歩できます。（学校を会社に見立てた場合）」になるでしょうか。ところが、生徒たちは「電車とバスできます」とだけ答えたり（このパターンが多い）、逆に「JR尼崎駅から篠山口行きの快速に乗ります。三田駅で降りて、三田駅北口のバス停にいきます。そこから…」といった具合に説明が長すぎる場合もあります。生徒の皆さんが住んでいる場所はそれぞれだと思しますので、まずは自宅から学校までの経路を適切に説明できるか、家庭でも話題にしてもらえたらと思います。

2つ目の理由は、「この人は安全に通勤できる人なのか」を知りたいからです。経路の質問の後には、たいてい「では、家から会社まで何分ぐらいで着きますか？」と聞かれます。経路の説明が明快で、所要時間も正確であれば、「この人は通勤に問題がない人だ」と判断できるからです。企業は、会社の建物の中にいるときだけでなく、通勤経路上でも、社員の安全に責任を負っています。社員を雇用するにあたって、安全面に不安があれば、会社は採用（実習実施）に消極的になります。

有意義な冬季休業に！

年の瀬が近づいています。学校がある時は早寝早起きをしている人も、長期の休みに入ると夜更かしや、朝寝坊をしていませんか。学校がある時のように冬季休業中でも、基本的な生活リズムは崩さないようにしましょう。ダラダラとした生活を送っているのは体調も崩してしまいます。規則正しい生活を送り、ルールを守り、有意義に過ごしてください。

3年生の就職活動について

3年生の就職活動は3年生になったと同時にスタートして長期に及びます。現在も結合実習に挑戦している人、実習を終えて結果を待っている人、面接に臨んでいる人、結合実習のお話を待っている人と、様々な状況にいます。年の瀬が近づいてくると、今までに増して隣の人の進路状況が気になるかも知れませんが、落ち着いて自分の進路をしっかりと見つめ、今できること、今やるべきことを一生懸命頑張りましょう。

また一番気をつけなければならないのは、すでに進路が決定した生徒達でしょう。気の緩みはありませんか？内定をいただいてホッとする気持ちは分かります。しかし内定はあくまでも内定です。スタートラインに立つことが許されただけにすぎないということを忘れないでください。内定が決まった位で気が緩んでしまっているようでは、働きだしてからのことが心配でなりません。これから自分はどう働いていくのか、どう生きていくのか、そのためには今何をしなければならないのか。「内定でゴールだ」に思わないように、しっかり地に足をつけて残された時間を有意義に使って、社会人になるための資質を養って行ってください。



photo.jp - 18101772

進路相談（四者懇談）について

2年生は2月に、進路指導部との進路相談を予定しています。進路相談は、本人と保護者・担任・進路指導部教員との四者懇談で行います。学校生活や現場実習について話を聞く他、今後の進路希望について確認します。まだはっきりと進路希望が決まっていないということもあるでしょう。しかし、保護者と本人が、お互いの思いにずれが生じないように、冬季休業中に一度進路について話し合っておいてください。そして、自分自身と向き合う機会となるよう、良いところばかりではなく自分の苦手とするところをしっかりと理解し、自分の言葉で伝えることができるようにしておきましょう。2年生の保護者の皆様には、すでに「進路希望調査用紙と参考資料」を配布しています。お子様と一緒に、その内容についてしっかり目を通し、ご記入・提出していただきますようお願いいたします。



障害者しごと体験事業発表会

令和7年1月30日（木曜日） 13時00分～15時30分

総合リハビリテーションセンター 神戸市西区曙町1070 案内ご希望の方は担任まで